

Hitachi Virtual Storage Software スタートパック ストレージ基盤 仕様表(2022年2月時点)

提供モデル		エントリー1	エントリー2	スタンダード	大容量
コンピュータ ネットワークスイッチ	種別	Cisco Nexus® 93180YC-FX (iSCSI) / Hitachi HT-4990-SWG620(Q) (FC)			
	プロトコル	ブロック (iSCSI、FC)			
ハイパーバイザー		VMware ESXi™ *1			
サーバー		HA8000V/DL360 Gen10 8SFF NC		HA8000V/DL380 Gen10 24SFF NC	
CPU		インテル® Xeon® プロセッサ × 2			
メモリ		128GiB (32GiB×4)			
ドライブ (システム)		1.6TB×2 【RAID1 *2】			
ドライブ (データ)		1.6TB SSD×8 【RAIDなし】	3.2TB SSD×8 【RAIDなし】	3.2TB SSD×24 *3 【RAIDなし】	6.4TB SSD×24 *3 【RAIDなし】
ノード数	HPEC 4D+1P *4 構成	5~32			
	HPEC 4D+2P *5 構成	6~32			
ユーザー容量	HPEC 4D+1P *4*6 構成	42.6~272.6TiB	87.6~560.4TiB	269.8~1727.0TiB	480.5~3075.2TiB
	HPEC 4D+2P *5*7 構成	40.9~218.0TiB	85.2~454.4TiB	269.3~1436.1TiB	542.0~2890.5TiB
ストレージノード間ネットワークスイッチ		Cisco Nexus® 93180YC-FX			

※ 製品の改良により予告なく記載されている仕様変更になることがあります。

※ 1GiB=1,024³バイト、1TiB=1,024⁴バイト、1TB=1,000⁴バイト、として計算した値です。

※ 上記はストレージ基盤の仕様です。ストレージ管理基盤の仕様については弊社までお問い合わせください。

*1 サポートされているバージョンは弊社までお問い合わせください。

*2 本装置でサポートするRAID1は、一般にはRAID1+0と呼ばれます。RAID1+0では、2台のドライブにまたがってブロックがミラーリングされ、複数のドライブペアにまたがってストライプセットが作成されます。

*3 ドライブ台数は、24台から最小8台まで1台ずつ構成変更が可能です。

*4 HPEC 4D+1Pは、ユーザーデータの格納先とは異なる1ノードにデータ復元用の符号を格納しておく日立独自の Erasure Codingによるデータ保護方式です。

*5 HPEC 4D+2Pは、ユーザーデータの格納先とは異なる2ノードにデータ復元用の符号を格納しておく日立独自の Erasure Codingによるデータ保護方式です。

*6 最小5ノード~最大32ノードにおけるストレージクラスターの論理容量を表しています。

*7 最小6ノード~最大32ノードにおけるストレージクラスターの論理容量を表しています。

VMware ESXiは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc. の登録商標または商標です。

Cisco、Cisco Nexusは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、およびIntel Coreは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporation またはその子会社の商標です。

その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。